

平成29年度 小・中学校における環境教育の取組み

教科名 総合的な学習の時間 (第1学年)

テーマ【 環境教育 ～ Stop! 地球温暖化!! 】

豊中市立第八中学校

《学習のねらい》

- ・ 社会で活躍する大人との交流やチームでの仕事体験を通して、「現在の自分」と「将来・社会」とのつながりを実感し、目標に向けてチャレンジし続ける意欲、主体的に考え、試行錯誤する力などを育む。
- ・ 生徒個々が苦心して、粘り強く、主体的に取り組むこと（作業やワーク）から達成感を味わってもらう。

《学習の流れ》

実施時期 4月 ～ 3月

- ① 千里地域の50年の変化から課題や疑問を見つける。
- ② 環境教育の視点（地産地消）で、校内の畑に（前半：さつまいも、後半：たまねぎ）を植える。
- ③ 世話をし、育て、収穫する。
- ④ 収穫したものを有志を集めて調理（さつまいも汁）し、昼食時に全クラスで食べる。
- ⑤ 竹細工制作としてぶんぶんゴマを作製し、校区の小学生と交流する。
- ⑥ キャリア教育の一環として、（株）エコスタイル・NPO法人JAE・豊中市環境部環境政策課とタイアップし、まちの人たちにエコアクション（環境に考慮した行動）を広げる方法を考える。
- ⑦ 生徒たちが実際にまちに出ていき、様々な事業所・団体に赴き、エコアクションのヒントをインタビューする。
- ⑧ インタビューしたことを各班でまとめ、プレゼンに向けて準備をしていく。

《指導のポイント》

- いろいろなことを体験する（ボランティア活動）の中で“なぜ”を大事にし、課題や疑問を探求し、発表（計画・準備）させる。
- 再生可能エネルギーの新たな見方、新たな資源になりうるという考え方など、新たな視点をもってもらう。
- 友達関係が固定しやすい中、チームワークの面白さを体験しつつ、葛藤を乗り越えていくような経験をさせる。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

- ・ 親父の会（ボランティア活動）
- ・ 地域の小学生（東丘小・北丘小）との交流活動
- ・ 株式会社「エコスタイル」
- ・ NPO法人「JAE」

《成果（児童・生徒の感想や反応 等）》

- ・ 自分たちの身近で起きている環境問題に対して、小さなことからできることを見つけ出すことができた。（移動教室のときに教室の電気を消す、日中は窓側の電気を消す、など。）
- ・ 異年齢と関わることで、その年齢に適した対応をすることができた。